

令和元年
岩手県教育委員会定例会
6 月

岩 手 県 教 育 委 員 会

令和元年6月 岩手県教育委員会定例会議事日程

令和元年6月14日(金) 午後1時30分

第1 会期決定の件

- 第2 事務報告1 岩手県立博物館における文化財への不適切な行為について (生涯学習文化財課)
- 第3 議案第1号 岩手県立中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則 (学校教育課)
- 第4 議案第2号 岩手県生涯学習審議会委員の任命及び解任に関し議決を求めることについて (生涯学習文化財課)
- 第5 議案第3号 岩手県社会教育委員の委嘱及び解嘱に関し議決を求めることについて (生涯学習文化財課)
- 第6 議案第4号 岩手県立図書館協議会委員の任命及び解任に関し議決を求めることについて (生涯学習文化財課)
- 第7 議案第5号 岩手県立博物館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて (生涯学習文化財課)
- 第8 議案第6号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて (教職員課)
- 第9 議案第7号 学校職員の一般の退職手当等の全部を支給しないこととする処分に関し議決を求めることについて (教職員課)
- 第10 事務報告2 いじめ重大事態について (学校調整課)

閉会

岩手県立博物館における文化財への不適切な行為について

1 経緯

- (1) 平成 26 年 8 月に、県立博物館において同年 6 月から実施していた文化財の保存処理等に係る県埋蔵文化財センター受託業務及び野田村教育委員会受託業務について、委託者に無断で受託資料からサンプリング採取が行われていたことが**内部職員の申出により発覚**した。
- (2) さらに、この野田村教育委員会受託業務において、**行方不明となった出土品**があり、無断で当該出土品のレプリカを作製したり、無断でサンプリングした痕跡を**他の金属で充填する行為**があったことが発覚した。
- (3) 県立博物館は、**県埋蔵文化財センター（平成 26 年 8 月）、野田村教育委員会（平成 27 年 3 月）**に対し、これら**不適切な処理に至った経緯を説明し、謝罪**した。
- (4) この問題を受け、平成 27 年 5 月、文化財の保存処理等に係る**受託業務の受入れを中断**することとした。
- (5) 平成 28 年 3 月、(1)、(2)の不適切な行為を行った職員（県教育委員会から（公財）岩手県文化振興事業団へ派遣）に対し、県教育委員会との協議を踏まえ、**同文化振興事業団において、文書訓告処分**を行った。

2 現状

- (1) 県立博物館では、平成 26 年の上記不適切事案を受け、再発防止策として受託業務に係るシステムや作業マニュアルを見直し、平成 29 年度から、**新たなマニュアルにより委託業務を再開（サンプル採取については契約書に明記）**している。
- (2) 今般、平成 26 年度以前に実施された奥州市、紫波町、軽米町からの受託業務などにおいて、委託者に無断で受託資料からサンプリング採取が行われていたことが発覚し、県立博物館から公表された。

3 今後の県教育委員会の対応

- (1) 県教育委員会として、**今回の事案を重く受け止め**、県立博物館や指定管理者である岩手県文化振興事業団と連携し、また、文化庁の助言等もいただきながら調査を進め、事実確認や必要な施策の検討を進めていくなど、**県教育委員会が主体となって適正に対処**していく。
- (2) これまでに、県立博物館における**受託件数や資料点数の把握、調査方針等の検討**を進めるとともに、県教育委員会内に教育次長をリーダーとする**調査チーム**を設置した。
- (3) 様々な発言等がされていることから、改めて関係者への**ヒアリング**を行うとともに、現時点で、調査対象となる資料点数が膨大となることが見込まれるため、**優先順位**をつけて調査を進めていく。
- (4) 既に平泉町柳之御所遺跡の「内耳鉄鍋（ないじてつなべ）・火舎（かしや）・花瓶（けびょう）」については、**調査に着手したところ**であり、平成 29 年度のマニュアル 改定以降の受託分も含め、直近の資料から遡って調査を進めていく。
- (5) 調査の結果については、**適宜公表**する。

議案第1号

岩手県立中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則

岩手県立中学校の管理運営に関する規則（平成20年岩手県教育委員会規則第14号）の一部を次のように改正する。

改正前			改正後		
(学級編制) 第2条 中学校の学級数及び生徒の収容定員は、次のとおりとする。			(学級編制) 第2条 中学校の学級数及び生徒の収容定員は、次のとおりとする。		
学校名	学級数	収容定員	学校名	学級数	収容定員
岩手県立一関第一高等学校附属中学校	[略]	<u>240人</u>	岩手県立一関第一高等学校附属中学校	[略]	<u>230人</u>
2 [略]			2 [略]		
備考 改正部分は、下線の部分である。					

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

令和元年6月14日提出

岩手県教育委員会教育長 佐藤 博

理由

県立中学校（一関第一高等学校附属中学校）に35人学級を導入するため、収容定員を改めようとするものである。これが、この規則案を提出する理由である。

岩手県立中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則案要綱

第1 改正の趣旨

県立中学校（一関第一高等学校附属中学校）に35人学級を導入するため、収容定員を改めようとするものである。

第2 規則案の内容

1 収容定員を240人から230人に改めること。（第2条関係）

2 施行期日

この規則は、令和2年4月1日から施行すること。（附則関係）

岩手県立中学校の管理運営に関する規則の一部改正について

R1.6.14 学校教育課義務教育担当

1 背景

- (1) 本県では、市町村立小中学校での 35 人学級を年次進行で導入してきており、平成 31 年度からすべての学年で実施となっている。
- (2) 市町村立中学校については、平成 29 年度から全学年での 35 人学級への移行が完成しているが、県立中学校においては、次世代リーダーを数多く育成するという同校設置のねらい等を踏まえ、当面 40 人学級を維持してきたもの。
- (3) 本県では、いじめ問題や不登校等の課題に対応し、児童生徒一人一人に寄り添った教育を実現するため、35 人学級の導入を推進してきているところであるが、教育委員等との協議の結果、長期的な視点を踏まえると、県立中学校の生徒に対するきめ細かな指導体制の充実を図るため、35 人学級の導入が必要と判断したこと。

2 規則改正の内容

(1) 改正の趣旨及び内容

ア 県立中学校（一関第一高等学校附属中学校）に 35 人学級を導入するため、収容定員を減ずるもの。

イ 令和 2 年度入学生から 35 人×2 学級=70 人とし、収容定員を 240 人から 230 人に改めること。

(2) 施行期日（35 人学級の導入の年次イメージ）

施行年度	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	収容定員
現行	80 人	80 人	80 人	240 人
令和 2 年度	<u>70 人</u>	80 人	80 人	<u>230 人</u>
令和 3 年度	<u>70 人</u>	<u>70 人</u>	80 人	<u>220 人</u>
令和 4 年度	<u>70 人</u>	<u>70 人</u>	<u>70 人</u>	<u>210 人</u>

※県立高等学校管理運営規則にならない、全学年が 35 人学級となるまで毎年度規則改正を行う。

3 経過

《平成 29～30 年度》

日程	会議名等	内容
平成 30 年 2 月 2 日	県教育委員会 協議会	県立一関第一高等学校附属中学校における 35 人学級の導入（定員減） について説明
2 月 13 日		県南教育事務所管内市町教育委員会教育長への説明 （一関市、奥州市、平泉町、金ヶ崎町）
5 月～6 月	地区校長研修 講座等	各教育事務所管内の市町村教育委員会教育長への説明
6 月 11 日	知事への業務 報告	県立一関第一高等学校附属中学校における 35 人学級の導入について 報告
7 月 7 日	学校説明会	参加者：県内小学校 5・6 年生児童及び保護者 内 容：入学者選抜検査の事務手続き、35 人学級導入への考え等
9 月 22 日	平成 31 年度 入学者選抜 事務説明会	参加者：県内小学校 5・6 年生保護者 内 容：入学者選抜検査の事務手続き等
平成 31 年 1 月 19 日		平成 31 年度入学者選抜検査の実施

4 スケジュール

令和元年度の規則改正から 35 人学級全学年導入までのスケジュール（予定含む）

日程	会議名等	内容
令和元年 5月13日	県教育委員会 定例会	県立一関第一高等学校附属中学校における 35 人学級の導入について 説明
6月14日	県教育委員会 定例会	議案提出 「岩手県立中学校の管理運営に関する規則の一部改正」
6月	知事への業務 報告	県立一関第一高等学校附属中学校における 35 人学級の導入について 報告
7月6日	学校説明会	参加者：県内小学校5・6年生児童及び保護者 内 容：入学者選抜検査の事務手続き、35 人学級導入の説明等
9月	令和2年度 入学者選抜 事務説明会	参加者：県内小学校5・6年生保護者 内 容：入学者選抜検査の事務手続き、35 人学級導入の説明等
令和2年 1月		令和2年度入学者選抜検査の実施
令和2年 4月1日	新年度スタート（第1学年・35人学級、収容定員230人）	
6月	県教育委員会 定例会	議案提出 「岩手県立中学校の管理運営に関する規則の一部改正」
7月～9月	学校説明会、 入学者選抜 事務説明会	参加者：県内小学校5・6年生保護者（児童） 内 容：入学者選抜検査の事務手続き、35 人学級導入の説明等
令和3年 1月		令和3年度入学者選抜検査の実施
令和3年 4月1日	新年度スタート（第1、2学年・35人学級、収容定員220人）	
6月	県教育委員会 定例会	議案提出 「岩手県立中学校の管理運営に関する規則の一部改正」
7月～9月	学校説明会、 入学者選抜 事務説明会	参加者：県内小学校5・6年生保護者（児童） 内 容：入学者選抜検査の事務手続き、35 人学級導入の説明等
令和4年 1月		令和4年度入学者選抜検査の実施
令和4年 4月1日	新年度スタート（全学年・35人学級、収容定員210人）	

議案第 2 号

岩手県生涯学習審議会委員の任命及び解任に関し議決を求めることについて

次のとおり岩手県生涯学習審議会委員の任命及び解任をすることについて、議決を求める。

1 任命（令和元年 7 月 1 日付）

職 名 等	氏 名
県立盛岡青松支援学校長	横 澤 修

2 解任（令和元年 6 月 30 日付）

氏 名	任 命 年 月 日	解 任 理 由
古 里 吉 久	平成 30 年 7 月 1 日	辞任の申出があったため

令和元年 6 月 14 日提出

岩手県教育委員会教育長 佐 藤 博

理由

岩手県生涯学習審議会委員の任命及び解任をしようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

岩手県社会教育委員・岩手県生涯学習審議会委員（案）

委員任期 [平成30年7月1日～令和2年6月30日]

選出区分		所属・職名	氏名	年齢	性別	居住地	社教委 年数	生涯審 年数
学校教育関係者	小中学校	盛岡市立土淵小・中学校長	はたけやま まさゆき 畠山 雅之	60	男	矢巾町	1期	1期
	特別支援	県立盛岡青松支援学校長	よこさわ おきむ 横澤 修	55	男	盛岡市	新	新
	高等学校	県立盛岡第二高等学校長	すがわら たかし 菅原 尚志	59	男	矢巾町	1期	1期
社会教育関係者	青年	岩手県青年団体協議会長	まつだ えみこ 松田 恵美子	32	女	陸前高田市	2期	2期
	婦人	特定非営利活動法人 岩手県地域婦人団体協議会長	せがわ あいこ 瀬川 愛子	83	女	八幡平市	4期	4期
	P T A	(一社)岩手県P T A連合会長	たぐち あきたか 田口 昭隆	46	男	盛岡市	1期	1期
	社教連	岩手県社会教育連絡協議会長	おおはし きよし 大橋 清司	74	男	盛岡市	5期	5期
	生涯学習	一関市立一関小学校 学校支援地域コーディネーター	いとう ゆきこ 伊藤 由紀子	46	女	一関市	1期	1期
		北上市江釣子地区交流センター長	たかはし かすみ 高橋 香澄	72	男	北上市	1期	1期
		特定非営利活動法人未来図書館 主任コーディネーター	つねかわ かおり 恒川 かおり	57	女	滝沢市	4期	4期
家庭教育	家庭教育	岩手看護短期大学専攻科助産学専攻講師 あそびma・senka 代表	にしぎと ますみ 西里 真澄	51	女	盛岡市	3期	3期
	福祉	特定非営利活動法人 紫波さぷり理事長	ほそかわ けいこ 細川 恵子	57	女	紫波町	4期	4期
学識経験者	高等機関	岩手大学教育学部 准教授	ばば さとこ 馬場 智子	37	女	盛岡市	1期	1期
		岩手県立大学社会福祉学部 教授	たかはし さとし 高橋 聡	54	男	盛岡市	4期	4期
	市町村 教委	一関市教育委員会 教育長	こすが まさはる 小菅 正晴	62	男	一関市	2期	2期
	公募	NPO 法人カタリバコラボスクール 大槌拠点長、大槌町教育専門官	かんの ゆうた 菅野 祐太	32	男	大槌町	1期	1期

年齢：令和元年7月1日現在

【審議会等の設置・運営に関する指針】	平成30年7月改選時	今回
委員数【原則20人以内】	16人	16人
男女委員登用率【40%未満にならないこと】	男：女 56.3%(9)：43.7%(7)	男：女 56.3%(9)：43.7%(7)
若手委員（50歳未満）【25%以上】	31.3%（5/16）	31.3%（5/16）
委員の平均年齢	53.9歳	54.8歳
在任期間8年超	1人	1人

議案第 3 号

岩手県社会教育委員の委嘱及び解嘱に関し議決を求めることについて

次のとおり岩手県社会教育委員の委嘱及び解嘱をすることについて、議決を求める。

1 委嘱（令和元年 7 月 1 日付）

職 名 等	氏 名
県立盛岡青松支援学校長	横 澤 修

2 解嘱（令和元年 6 月 30 日付）

氏 名	任 命 年 月 日	解 任 理 由
古 里 吉 久	平成 30 年 7 月 1 日	辞任の申し出があったため

令和元年 6 月 14 日提出

岩手県教育委員会教育長 佐 藤 博

理由

岩手県社会教育委員の委嘱及び解嘱をしようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

岩手県社会教育委員・岩手県生涯学習審議会委員（案）

委員任期 [平成30年7月1日～令和2年6月30日]

選出区分		所属・職名	氏名	年齢	性別	居住地	社教委年数	生涯審年数
学校教育関係者	小中学校	盛岡市立土淵小・中学校長	はたけやま まさゆき 畠山 雅之	60	男	矢巾町	1期	1期
	特別支援	県立盛岡青松支援学校長	よこさわ おきむ 横澤 修	55	男	盛岡市	新	新
	高等学校	県立盛岡第二高等学校長	すがわら たかし 菅原 尚志	59	男	矢巾町	1期	1期
社会教育関係者	青年	岩手県青年団体協議会長	まつだ えみこ 松田 恵美子	32	女	陸前高田市	2期	2期
	婦人	特定非営利活動法人 岩手県地域婦人団体協議会長	せがわ あいこ 瀬川 愛子	83	女	八幡平市	4期	4期
	P T A	(一社)岩手県P T A連合会長	たぐち あきたか 田口 昭隆	46	男	盛岡市	1期	1期
	社教連	岩手県社会教育連絡協議会長	おおはし きよし 大橋 清司	74	男	盛岡市	5期	5期
	生涯学習	一関市立一関小学校 学校支援地域コーディネーター	いとう ゆきこ 伊藤 由紀子	46	女	一関市	1期	1期
		北上市江釣子地区交流センター長	たかはし かすみ 高橋 香澄	72	男	北上市	1期	1期
	特定非営利活動法人未来図書館 主任コーディネーター	つねかわ かおり 恒川 かおり	57	女	滝沢市	4期	4期	
家庭教育	家庭教育	岩手看護短期大学専攻科助産学専攻講師 あそびma・senka 代表	にしぎと ますみ 西里 真澄	51	女	盛岡市	3期	3期
	福祉	特定非営利活動法人 紫波さぷり理事長	ほそかわ けいこ 細川 恵子	57	女	紫波町	4期	4期
学識経験者	高等機関	岩手大学教育学部 准教授	ばば さとこ 馬場 智子	37	女	盛岡市	1期	1期
		岩手県立大学社会福祉学部 教授	たかはし さとし 高橋 聡	54	男	盛岡市	4期	4期
	市町村教委	一関市教育委員会 教育長	こすが まさはる 小菅 正晴	62	男	一関市	2期	2期
	公募	NPO 法人カタリバコラボスクール 大槌拠点長、大槌町教育専門官	かんの ゆうた 菅野 祐太	32	男	大槌町	1期	1期

年齢：令和元年7月1日現在

【審議会等の設置・運営に関する指針】	平成30年7月改選時	今回
委員数【原則20人以内】	16人	16人
男女委員登用率【40%未満にならないこと】	男：女 56.3%(9)：43.7%(7)	男：女 56.3%(9)：43.7%(7)
若手委員（50歳未満）【25%以上】	31.3%（5/16）	31.3%（5/16）
委員の平均年齢	53.9歳	54.8歳
在任期間8年超	1人	1人

議案第4号

岩手県立図書館協議会委員の任命及び解任に関し議決を求めることについて
次のとおり岩手県立図書館協議会委員の任命及び解任をすることについて、議決を
求める。

1 任命（令和元年7月1日付）

職 名 等	氏 名
岩手県学校図書館協議会長 (盛岡市立向中野小学校長)	中 村 雅 彦

2 解任（令和元年6月30日付）

氏 名	任 命 年 月 日	解 任 理 由
細 川 雅 彦	平成30年7月1日	辞任の申出があったため

令和元年6月14日提出

岩手県教育委員会教育長 佐 藤 博

理由

岩手県立図書館協議会委員の任命及び解任をしようとするものである。これが、この
議案を提出する理由である。

岩手県立図書館協議会委員（案）

委員任期：平成30年7月1日～令和2年6月30日

令和元年7月1日現在

	現 職	氏 名	年齢	性別	居住地	任期
学校教育関係	岩手県学校図書館協議会長 (盛岡市立向中野小学校長)	中 村 雅 彦	57	男	滝沢市	新任
社会教育関係	田野畑村教育委員会 社会教育委員	下 机 暁 美	57	女	田野畑村	4期
家庭教育関係	うすゆきそう文庫 代表	澤 口 杜 志	64	女	盛岡市	3期
学識 経験者等	盛岡大学文学部 准教授	吉 植 庄 栄	47	男	盛岡市	1期
	前盛岡市教育委員会 委員	吉 丸 蓉 子	75	女	盛岡市	4期
	花巻市立東和図書館 館長※	菊 池 桂	57	女	花巻市	1期
	岩手日報社 編集局学芸部長	おやまだ やす ひろ 小山田 泰 裕	50	男	盛岡市	2期
	作家	い とう じゅん 斎 藤 純	62	男	盛岡市	5期

※ 改選時に公募した結果、応募がなかったことから、「学識経験者」の区分に市町村図書館職員
の枠を設け、委員を任命しているもの。

チェック項目	平成30年7月改選時	今回
◎ 委員数 【原則20人以内】	8人（新任2人）	8人（新任1人）
◎ 男女共同参画の推進に配慮 【男女いずれか一方の委員の数が総委員数の40%未満にならないこと】	男 50.0%（4/8） 女 50.0%（4/8）	男 50.0%（4/8） 女 50.0%（4/8）
◎ 若手委員（50歳未満）の登用率 【25%以上目標】	25.0%（2/8）	12.5%（1/8）
◎ 委員の平均年齢	58.0歳	58.6歳
◎ 公募制の導入 【委員の一部を公募により選任】	0人	0人
◎ 在任期間が8年を超える委員	1人	1人

議案第5号

岩手県立博物館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて
次のとおり岩手県立博物館協議会委員の任命をすることについて、議決を求める。
任命（令和元年6月23日付）

職 名 等	氏 名
盛岡市立東松園小学校校長	嶋 野 恵美子
盛岡市立厨川中学校校長	菊 池 正 樹
岩手県立盛岡第四高等学校校長	五日市 健
岩手県青年団体協議会会長	松 田 恵美子
特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会理事	大 坊 邦 子
一般社団法人岩手県PTA連合会副会長	玉 舘 誠
石神の丘美術館主任学芸員	齋 藤 桃 子
八幡平市教育委員会教育長	星 俊 也
岩手県立博物館友の会会員	細 越 千絵子
株式会社岩手日報社編集局学芸部次長	及 川 亜希子
岩手医科大学教授	松 政 正 俊
岩手大学教授	菅 野 文 夫
啄木研究家（元石川啄木記念館学芸員）	山 本 玲 子
盛岡ふるさとガイドの会	沼 里 由紀子

令和元年6月14日提出

岩手県教育委員会教育長 佐 藤 博

理由

岩手県立博物館協議会委員の任命をしようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

岩手県立博物館協議会委員（案）

(R1.6.23~R3.6.22)

分野	現職	氏名	年齢	性別	居住地	年数	
学校教育関係者	盛岡市立東松園小学校校長	しまの 嶋野 えみこ 恵美子	58	女	盛岡市	新任	
	盛岡市立厨川中学校校長	さくち 菊池 まさき 正樹	59	男	盛岡市	新任	
	岩手県立盛岡第四高等学校校長	いつかいち 五日市 たけし 健	58	男	盛岡市	新任	
社会教育・家庭教育関係者	岩手県青年団体協議会会長	まつだ 松田 えみこ 恵美子	32	女	陸前高田市	3期	
	特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会理事	だいぼう 大坊 くにこ 邦子	76	女	岩手町	新任	
	一般社団法人岩手県PTA連合会副会長	たま だて 玉館 まこと 誠	47	男	軽米町	2期	
学識経験者	団体推薦等	石神の丘美術館主任学芸員	さいとう 齋藤 ももこ 桃子	41	女	岩手町	4期
		八幡平市教育委員会教育長	ほし 星 としや 俊也	64	男	盛岡市	2期
		岩手県立博物館友の会会員	ほそごえ 細越 ちえこ 千絵子	50	女	盛岡市	2期
		株式会社岩手日報社編集局学芸部次長	おいかわ 及川 あきこ 亜希子	44	女	盛岡市	新任
	個人	岩手医科大学教授	まつまさ 松政 まさとし 正俊	58	男	盛岡市	2期
		岩手大学教授	かんの 菅野 ふみお 文夫	63	男	盛岡市	3期
		啄木研究者	やまもと 山本 れいこ 玲子	62	女	八幡平市	新任
		盛岡ふるさとガイドの会	ぬまさと 沼里 ゆきこ 由紀子	77	女	滝沢市	4期

※年齢：令和元年6月23日現在

チェック項目	平成30年9月改選時	今回
◎ 委員数【15人以内】	14人（新任1人）	14人（新任6人）
◎ 男女共同参画の推進に配慮 【男女いずれか一方の数が総委員数の40%未満にならないこと】	男：女 57.1%：42.9%	男：女 42.9%：57.1%
◎ 若手委員（50歳未満登用率【25%以上目標】）	35.7%（5/14）	28.6%（4/14）
◎ 委員の平均年齢	55.4歳	56.4歳
◎ 在任期間8年超	なし	なし